

# Takahashi Masaki

タカハシ・マガジン Vol.5

「ソラエ高岡」完成。富山県高岡看護専門学校4月開校！

市民のために、高岡のために。  
その視線の先には、確かな未来がある。

高橋まさきは、  
拓く。磨く。つなぐ。創る。

## 高樹会 役員名簿

| 役 職            |       | (順不同・敬称略) |       |  |  |  |  |
|----------------|-------|-----------|-------|--|--|--|--|
| 顧 問            | 南 義弘  | 石澤 義文     | 川村 人志 |  |  |  |  |
| 相 談 役          | 横田 安弘 | 井村 昭彦     | 穴田 甚朗 |  |  |  |  |
| 会 長            | 永田 義邦 |           |       |  |  |  |  |
| 副 会 長          | 稲垣 晴彦 | 岡本清右衛門    | 金森 清伸 |  |  |  |  |
|                | 川西 邦夫 | 多田 慎一     | 萩原 清  |  |  |  |  |
|                | 八十島清吉 | 山口 正志     | 山本 務  |  |  |  |  |
| 幹 事 長          | 本多 剛治 |           |       |  |  |  |  |
| 副幹事長           | 在田 吉保 | 萩原 隆夫     | 菅野 克志 |  |  |  |  |
|                | 田辺 千秋 | 釣谷 宏行     | 増岡 一郎 |  |  |  |  |
| 会 計            | 鷺山 浩一 |           |       |  |  |  |  |
| 監 事            | 中村 絢一 | 張田 昭夫     | 吉岡隆一郎 |  |  |  |  |
| (2017年3月12日現在) |       |           |       |  |  |  |  |

(2017年3月12日現在)

## 高橋まさき後援会 支部長名簿

(順不同・敬称略)

|       |       |      |       |       |       |
|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| 下関支部  | 今井 正行 | 福田支部 | 森田 和夫 | 西条支部  | 荻沢 勝一 |
| 二塚支部  | 青木 誠  | 立野支部 | 清水 善正 | 成美支部  | 高井 清高 |
| 太田支部  | 竹本 哲夫 | 能町支部 | 川西 巖  | 平米支部  | 和田 徹  |
| 中田支部  | 山岸 和夫 | 小勢支部 | 春日 貞夫 | 古府支部  | 菊池 喜義 |
| 石堤支部  | 細川 俊治 | 横田支部 | 若野 富男 | 福岡町支部 | 井村 昭彦 |
| 東五位支部 | 杉江 幸男 | 木津支部 | 太田 康夫 | 博労支部  | 林 正晴  |
| 野村支部  | 高木 達郎 | 吉久支部 | 上埜 進  | 正 柔 会 | 吉村 英男 |
| 戸出支部  | 宮本 弥生 | 伏木支部 | 古市 義雄 | 女性部会  | 辻 やす子 |
| 牧野支部  | 大坂 昭輔 | 国吉支部 | 中田 孝司 | 青年部会  | 菅野 克志 |
| 佐野支部  | 浦田 一郎 | 万葉支部 | 川田 正信 |       |       |
| 川原支部  | 下山 実  | 定塚支部 | 山達 六夫 |       |       |

(2017年3月12日現在)

## 高橋まさき後援会 役員名簿

| 役 職   |       | (順不同・敬称略) |        |  |  |  |  |
|-------|-------|-----------|--------|--|--|--|--|
| 顧 問   | 南 義弘  | 石澤 義文     | 橘 慶一郎  |  |  |  |  |
|       | 穴田 甚朗 |           |        |  |  |  |  |
| 参 与   | 横田 安弘 | 井村 昭彦     |        |  |  |  |  |
| 会 長   | 川村 人志 |           |        |  |  |  |  |
| 副 会 長 | 荒井 公夫 | 在田 長生     | 稲垣 晴彦  |  |  |  |  |
|       | 氏家 史貴 | 大井 弘      | 岡本清右衛門 |  |  |  |  |
|       | 梶谷 英治 | 梶原 壽治     | 金森 清伸  |  |  |  |  |
|       | 川西 邦夫 | 木本 博之     | 小泉 弘子  |  |  |  |  |
|       | 酒井 敏行 | 田井 佳夫     | 高嶋 一正  |  |  |  |  |
|       | 田辺 千秋 | 辻 やす子     | 永田 義邦  |  |  |  |  |
|       | 西田 隆文 | 西村 博邦     | 萩原 清   |  |  |  |  |
|       | 藤川 正司 | 藤木 正和     | 本多 剛治  |  |  |  |  |
|       | 松永 浩司 | 本林 克弘     | 山本 務   |  |  |  |  |
| 幹 事 長 | 舘 勇将  |           |        |  |  |  |  |
| 会 計   | 菅野 克志 |           |        |  |  |  |  |
| 監 事   | 杉江 幸男 | 中村 絢一     |        |  |  |  |  |

(2017年3月12日現在)



平成28年度 高樹会・高橋まさき後援会 合同総会にて

## 高橋まさきプロフィール

生年月日 1954年5月23日 高岡市生まれ  
趣味 読書、文具集め、友人たちとの語らい

昭和52年3月 東京大学法学部卒業  
昭和52年4月 自治省(現総務省)入省  
神奈川県・消防庁・宮崎県・熊本県・自治体国際化協会に勤務  
行政改革や選挙制度改革、九州新幹線着工などに携わる。  
平成 9年7月 消防庁救急救助課長  
平成11年1月 自治省大臣官房文書課長  
平成13年1月 省庁再編後の総務省で、情報通信政策局地域放送課長  
平成14年1月 総務省自治財政局財務調査課長  
平成14年7月 新潟県副知事  
中越地震の復旧・復興に携わる。

平成18年4月 総務省統計局統計調査部長  
平成19年7月 総務省大臣官房審議官(税務担当)  
平成20年8月 財団法人地域創造常務理事  
芸術文化を通じた創造性豊かな地域づくりを推進

平成21年7月 高岡市長  
平成25年4月 富山県市長会会長(～平成27年5月)  
同年5月 全国市長会北信越支部長(～平成26年5月)  
同年7月 高岡市長2期目就任  
平成26年6月 全国市長会副会長(～平成27年6月)  
全国市長会都市税制調査委員会委員長  
平成27年6月 全国市長会相談役

## 高樹会ご入会案内

「高樹会」は、「高橋まさき後援会」の資金管理団体です。入会及びその他について、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。皆様の「高樹会」ご入会をお待ちしております。



家持くん 利長くん

お問い合わせ

高橋まさき後援会

〒933-0912 高岡市丸の内1-40 高岡商工ビル 7F  
TEL:0766-26-6035 FAX:0766-26-6008

ホームページ <http://www.takahashi-masaki.com/>

2017年3月発行



# 2期・8年間の主な活動報告

## 高岡の未来のために

皆様方には、高橋まさきの活動に、日頃からご理解とご支援を頂き、有り難うございます。  
早いもので、市長の重責を預かり、早や8年を迎えようとしております。

この間、北陸新幹線開業という半世紀にわたる課題を実現することができました。これに合わせて、基幹的道路網の整備をはじめ、これまで蒔いてきたまちづくりの種が、いよいよ豊かな実を結び始めていることを実感しています。加えて、高岡市は平成27・28年連続で人口の社会増を達成しました。20年ぶりのことです。これを一過性のものとすることなく、持続的な定住促進を進めてまいります。

「都心軸」への都市機能の集約が進み、高岡駅前東地区の「ソラエ高岡」、富山県高岡看護専門学校の開校を契機として、民間主導の都市開発が相次いで着手されています。御車山祭のユネスコ無形文化遺産登録、これらを含む日本遺産の認定など、歴史・文化を活用したまちづくりも具体的な姿を現してきました。

産業団地の整備や企業誘致等による魅力あるしごとづくり、子ども子育て世代が住みよい環境づくりなど、「まち」、「しごと」、「ひと」を一体のものとして、地方創生に取り組みます。

その道しるべとして、新たな高岡市総合計画を策定しました。将来像の「市民創造都市・高岡」を目指して、市民と共に創る共創のまちづくりを推進してまいります。

高岡の強み「文化力」、「創造力」、「市民力」を生かして、「元気なふるさと高岡づくり」に全力を尽くしてまいりますので、今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

高岡市長 **高橋 まさき**

## 交流・観光 北陸新幹線を軸に新たな時代を拓く

2015年に北陸新幹線が開業。これに先行する高岡駅整備や新高岡駅周辺整備、関連交通網の整備など、新幹線開業という大きなエポックを通して、高岡の新たな時代を拓きます。

### 人・もの・情報の大交流時代が到来、北陸新幹線開業！



7時28分発「かがやき」にあわせて新高岡駅の開業式典を開催(2015年3月14日)

### 高岡環状線開通

県道高岡環状線をはじめとする、高規格道路、都市計画道路が次々と開通。



新高岡駅を拠点とする戦略的道路の整備で交流観光都市を創ります。(2014年11月14日)

### 福岡の新たなシンボル、賑わい交流館完成



あいの風とやま鉄道福岡駅横に新たな活性化と交流の拠点「フクール」誕生(2016年5月28日)

### クルーズ船、RORO船等 伏木寄港の活性化を



ダイヤモンド・プリンセス号 伏木港入港歓迎式典(2014年3月29日)

### 高岡の新たな玄関口！クルン高岡オープン

高岡駅の橋上化などに続いて高岡ステーションビル「クルン高岡」がリニューアルオープン(2014年3月29日)



## 歴史・文化

## 文化創造都市・高岡の実現を目指して

高岡の有する歴史文化資源に磨きをかけ、市民による多様なフォーラムや会議など、文化創造都市高岡の魅力を全国に発信しています。

### 高岡開町400年、市民参加でつくる歴史都市へ

2009年、加賀前田家二代当主がこの地に城を築き、まちを開いてから400年目の節目の年を迎え、「歴史と出会い」「今日を祝い」「未来へ歩む」を基本理念に、「市民参加」と「高岡の発信」をキーワードに数多くの事業が展開されました。



### 歴史文化都市高岡の面目躍如！日本遺産第一弾に認定



第一弾の「日本遺産」に高岡市の「加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡 一人、技、心」認定。



日本遺産認定交付式(2015年6月29日)

### 歴史ある風景地の保存とPR

雨晴海岸が2014年3月に国指定名勝おくのほそ道の風景地として文化財に指定、2015年10月には義経岩の範囲が追加され、「有磯海」に名称が変わりました。



### 高岡市 藤子・F・不二雄 ふるさとギャラリーオープン



オープニングセレモニー(2015年12月1日)

### 高岡御車山祭がユネスコ無形文化遺産に登録



### 万葉のまちづくりを全国にネットワーク

2017年の大伴家持生誕1300年に向け、万葉にゆかりある全国の自治体が集まり、第1回全国万葉故地サミットを開催しました。



第1回全国万葉故地サミットを開催。次回開催地の多賀城市菊池市長へ引き継ぎ(2016年10月8日)



奈良平城京 大極殿にて、「大伴家持 上京の旅」無事到着(2014年11月9日)

### 文化創造都市高岡をフォーラムなどのイベントで発信

「文化創造都市高岡推進フォーラム」や「生活文化創造都市・地域会議」を開催し、市民とともに高岡を全国・世界に発信しました。



全国まちづくり会議2016 in 高岡(2016年10月15日)



エンジン01 文化戦略会議オープンカレッジセミナーin高岡(2015年3月29日・30日)



高岡万葉まつり朗唱の会(2015年10月4日)



金屋町楽市inさまのこ(2016年9月25日)



## 2期・8年間の主な活動報告 高岡の未来のために

### ものづくり ものづくりのまち高岡を推進

伝統工芸を大切にしながら時代の流れに乗って革新を重ねてものづくりに取り組んできた高岡を全国に積極的にアピールしています。

#### 伝統工芸都市高岡を、全国にアピール！



伝統的工芸品国民会議全国大会を開催  
(2015年11月6日)



#### 先端企業の誘致を推進



地域の最先端をリードする高岡オフィスパークは、生産工場や営業所だけでなく、教育・福祉施設や先端サービス業などが入居し、2015年6月に全ての分譲用地が売却となりました。

#### 伝統工芸産業再興 1000年プロジェクト



奈良・法隆寺の国宝「釈迦三尊像」を高岡銅器と井波彫刻の技術を生かして復元するプロジェクト。素材も質感も本物と同じ「クローン文化財」が制作され、3月には高岡で一般公開されます。



工芸都市高岡クラフト展開催(2016年9月20日)



第1回日本工芸展in上海が高岡漆器をテーマに開催(2016年10月14日～20日)

### 安全・安心 安全・安心なくらしのために

安全・安心なまちづくりは、市政の基本です。  
防災・減災地域の福祉体制づくりを通して、市民の安心なくらしを支えます。

#### 住みなれた地域で、安全・安心な暮らしを

住みなれた地域で安心して暮らせる地域ケアシステムの構築とあかり福祉ネット、あかりライフケアシステムなどを通じて、市内全域で重層的な地域包括ケア体制を確立。



9月の敬老の日に記念品を贈り、長寿を祝います。



高岡市消防出初式(2017年1月7日)

#### 災害に備えた体制づくり

様々な災害を念頭において、体系的な防災訓練を実施。



県西部消防指令センター運用開始  
庄川左岸(西側)5市で一体的な消防指令体制が実現(2013年12月24日)



原子力総合防災訓練(2014年11月3日)

### 人づくり 高岡の未来を創るひとづくり

まちの未来を創るのは人です。これからの高岡を担う創造的な人材の育成に積極的に取り組んでいます。

#### 起業、創業、地域の活性化を目指す人材育成事業を展開



県内各大学と包括連携協定を締結  
(写真は、高岡法科大学)



高岡熱中寺子屋開校式(2016年9月3日)

#### 東京オリンピック・パラリンピックを目指し、 スポーツを通したたくましい人づくり



「ボールパーク高岡」オープン  
(2015年5月23日)



県西部6市が協力して、王貞治氏が提唱する  
第26回世界少年野球大会富山大会を開催  
(2016年8月19日)



#### 若い世代が安心できる 子ども子育ての推進

子どもたちの健全な育成を目指して、学童保育の充実や子どもの発達に応じた教育、幼保の一元的なサービスの充実を図ります。

### 新たな連携に向けて、とやま呉西圏域を形成

県西部地域6市「とやま呉西圏域連携中枢都市圏」を形成。  
地方創生の柱として、広域的なネットワークを築きます。



とやま呉西圏域連携中枢都市圏発足！(2016年10月3日)

### 高岡駅前に人づくりの拠点が誕生！

高岡の新しい顔として、高岡駅前東地区の複合ビル「ソラエ高岡」完成。



富山県高岡看護専門学校に学生360人が看護師を目指して集い、中心市街地の活性化に期待が寄せられます。(2017年2月5日竣工)



2016年リオデジャネイロオリンピック金メダリスト登坂選手  
(女子レスリング48kg級) 市民栄誉特別賞贈呈式  
(2016年9月18日)

#### 新高岡市誕生10周年記念式典



高岡市と福岡町の合併10周年を祝い、記念式典が開催され、新しい高岡市民の歌「ふるさと高岡」が披露されました。(2015年11月1日)



# 高岡のつくりがた



総合計画はすべての計画の基本となる行政運営の指針です。高岡市の総合計画は、市が掲げるまちの将来像と、その将来像を実現するための具体的な取り組みを示したものです。

北陸新幹線の開業で、今後、ヒト・モノ・コトの交流がさらに拡大していくと期待されます。一方で、加速度的に進む人口減少への対応も不可欠であり、まち・ひと・しごと創生による地方創生の取り組みを進める必要があります。

このまちの強みを活かし、共創・再発見・発信によって、高岡の未来を市民みんなで創造していきます。

## 強みと課題

**文化力**  
底力を見せる町民文化

経済力をつけ、まちの担い手となった町民が受け継いできた「まちの個性」としての文化

**創造力**  
稼ぐ力を持つものづくり産業

付加価値が高く、時代に合った製品を生む技術力とデザイン力を持つ製造業

## 3つの強み

**市民力**  
高い地域力が生む住みやすさ

活発な公民館活動、三世帯同居など地域全体で社会や家庭を支える高い意識

## 6つの課題

- 1 ものづくり産業の復興
- 2 若者世代が共感する活力創出
- 3 中心市街地のリノベーション
- 4 周辺市街地の躍動
- 5 高岡駅・新高岡駅の相乗的利活用
- 6 地域力の再構築

## まちの将来像

豊かな自然と歴史、文化につつまれ、人と人がつながる市民創造都市 高岡

私たち高岡市民は、「ものづくりの技と心」を礎とし、その英知とたゆまぬ努力によって町民文化の花を咲かせた先人の志を受け継ぎ、創造的で活力にあふれる高岡らしいまちづくりを実現しなければなりません。

市民一人ひとりが、それぞれの能力を活かして活動し、その営みの中で、次代を担う創造性豊かな市民が育つ。そして、新たなまちを創っていくという好循環にある都市を目指します。

## まちづくりの手法

**共創**

市民や団体、企業、大学、地域、行政が互いに知恵を出し合い、社会的課題の解決に取り組むことにより、新たなまちの魅力が生まれ、地域の価値が高まります。

**再発見**

高岡の豊かな自然や歴史・文化を学び、体験することで、地域の魅力を知り、その価値を再認識することができます。その力をまちづくりに活かしていきます。

**発信**

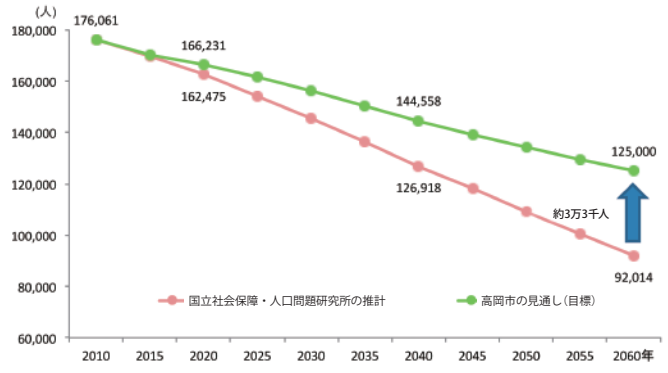
市民と行政との対話によって、開かれた市政を運営します。また、市民一人ひとりが、高岡の魅力を自分の言葉や行動で表現し、市内外に発信します。

## 将来のまちの姿

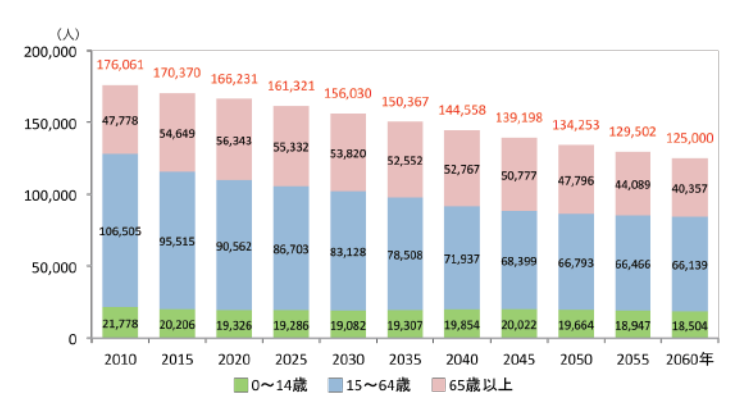
### 人口の見通し

人口減少は、まちの活力や暮らしやすさの低下につながります。転入・転出などの社会動態の面から対策を強化し、人口減少を抑制します。

【将来人口の推計】



【年齢3区分別の推計】



## 都市構造の考え方

各地域の特性に応じた都市機能や居住機能をそれぞれの市街地内に誘導するとともに、それらを公共交通等で結ぶ「コンパクト・アンド・ネットワーク」のまちづくりに取り組み、機能性、安全性、利便性の高い持続可能な都市づくりを目指します。





めざすまちの姿と施策

17のめざすまちの姿+61の施策

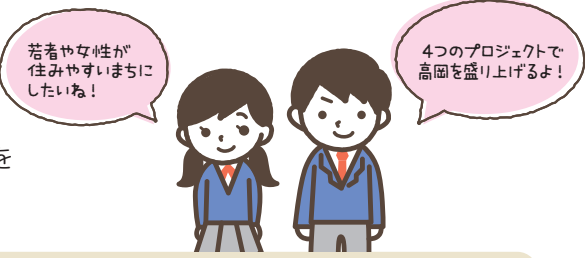
期間:2017年-2021年

|        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 地域産業   |                                  |
| 1      | ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している        |
| 2      | 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある              |
| 歴史・文化  |                                  |
| 3      | 世代を超えて受け継がれてきた歴史資産が大切に継承され、輝いている |
| 4      | 暮らしの中に万葉と前田家ゆかりの文化が息づいている        |
| 交流・観光  |                                  |
| 5      | 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている |
| 6      | 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている     |
| 7      | 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている    |
| 子育て・教育 |                                  |
| 8      | 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる          |
| 9      | 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている         |
| 10     | いくつになっても興味のあることを気軽に学んでいる         |
| 11     | いつでも気軽にスポーツを楽しんでいる               |
| 安全・安心  |                                  |
| 12     | 誰もが生き生きと自立して暮らしている               |
| 13     | 健康的な生活を送り、必要な時に適切な医療を受けられる       |
| 14     | 地域の人々の手で環境が守られている                |
| 15     | 安全で快適な生活を送っている                   |
| 16     | その人らしさが尊重され、お互いに助けられながら幸せに暮らしている |
| 17     | 市役所が市民に信頼され、責任を持って取り組んでいる        |

|                                                               |                                                  |
|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| ①新たな事業活動の創出<br>②地域産業の競争力強化<br>③産業基盤の整備・企業立地の推進                | ④中小・小規模企業の経営基盤強化<br>⑤雇用・勤労者福祉の充実                 |
| ①農業の持続的発展<br>②農山村の振興                                          | ③林業の振興<br>④水産業の振興                                |
| ①文化財の保存・活用<br>②歴史的風致の保全・活用                                    | ①地域に根ざした創造的な芸術・文化活動の育成                           |
| ①観光資源の発掘と保存・活用<br>②広域観光の推進<br>③イメージアップ・誘致活動の強化                | ④国内・国外交流の推進<br>⑤インバウンドの推進                        |
| ①商業・サービス業の振興<br>②中心市街地活性化の推進<br>③市街地の整備                       | ④住宅・宅地の整備<br>⑤良好な都市景観の創出                         |
| ①高岡駅・新高岡駅の周辺整備<br>②高速道路網・幹線道路網・地域公共交通体系の整備                    | ③港湾の整備・活用<br>④広域連携の推進                            |
| ①教育・保育の一体的提供の推進とサービスの充実<br>②新たな子育て情報提供システムの構築                 | ③安心して妊娠・出産・子育てができる体制の充実<br>④地域の子育て力の応援           |
| ①確かな学力・豊かな心・健やかな体をはぐくむ教育の推進<br>②地域に開かれた特色ある教育活動の充実            | ③教育効果を高める教育環境の充実<br>④高等学校・高等教育機関の充実・連携           |
| ①ライフステージに応じた生涯学習の振興<br>②未来を担う世代の育成と、若者が主体となるまちづくりの推進          |                                                  |
| ①生涯スポーツ活動の充実<br>②スポーツ施設の充実と効率的な活用                             |                                                  |
| ①地域福祉の推進<br>②障がい者(児)福祉・自立支援対策の充実                              | ③高齢者福祉の充実                                        |
| ①生涯を通じた健康づくりの推進<br>②医療体制・医療制度の充実                              |                                                  |
| ①環境保全意識の高揚<br>②環境保全対策の充実                                      | ③ごみの減量化・資源化の推進                                   |
| ①防災対策の充実<br>②消防・救急・救助体制の充実<br>③道路整備、交通安全・防犯対策の充実<br>④緑化の推進と保全 | ⑤河川・海岸の保全・整備<br>⑥雪対策の充実<br>⑦上・下水道の整備<br>⑧消費生活の向上 |
| ①市民が主役の地域づくりへの支援<br>②多文化共生社会の推進                               | ③男女平等・共同参画社会の実現<br>④平和な地域社会の形成                   |
| ①市民に開かれた市政の推進<br>②高度情報化の推進                                    | ③簡素で効率的な行財政の推進                                   |

リーディングプロジェクト

人口減少と地域経済縮小の克服に向けて、まち・ひと・しごとの創生と好循環を確立するための、4つのプロジェクトに取り組みます。



### プロジェクトI

#### 魅力的なしごとに 挑戦できるまちをつくる

- ①地域産業の競争力強化
- ②ものづくりの魅力の発信による販路の拡大
- ③戦略的な企業立地の推進による産業集積の促進
- ④創業支援による新事業の創出と起業の促進
- ⑤魅力的な観光地域づくりと広域観光の推進

### プロジェクトII

#### 多様なひとが 住みたいと感じるまちをつくる

- ①若者、女性など多様なひとの定住の促進
- ②大学生のまちづくりへの参画と定着の促進
- ③まちなかにおける安全・安心な生活環境の整備と居住の促進

### プロジェクトIII

#### 安心して子どもを 産み育てられるまちをつくる

- ①しごとと子育ての両立の推進
- ②地域で子育て家庭を支える社会の形成
- ③安心して子育てができるサービスの充実
- ④地域の文化に誇りと愛着を持つ子どもの育成

### プロジェクトIV

#### 快適に暮らせ、創造的に 活動できるまちをつくる

- ①コンパクト・アンド・ネットワークの推進による快適な生活と持続可能な都市経営の確保
- ②広域連携による活力ある経済・生活圏の形成
- ③「創造の場」の形成による創造的な活動の活性化





# 高橋まさきと歩く 日本遺産めぐり Vol.2

高岡の宝が  
世界の宝に  
なりました!



## 「高岡御車山祭の御車山行事」が、ユネスコ無形文化遺産に登録。

### 開町より受け継ぐ心

#### 地域の安泰を願う人々の祈りとして

2016年12月1日、高岡御車山祭の御車山行事が、日本の「山・鉾・屋台行事」として、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。

これは、市民によって大切に受け継がれてきたことが評価されたものです。御車山には、布袋和尚や恵比須様などの人形が置かれていますが、御車山に宿る神を表しています。

山町の人々は、御車山を曳くことを「奉曳<sup>ほうえい</sup>」と言います。祭りは、地域の安泰を願う人々の祈りです。だから、奉曳は厳粛盛大に行うのです。



高岡御車山 勢揃い(5月1日 12時)  
片原町交差点に7基すべてが揃った光景は、壮観です。  
電線の地中化工事により、美しい青空を背景に御車山が並びます。

### 「高岡町奉行」以来の伝統を受け継ぐ

高岡御車山は、勢揃いの前に、坂下町の坂の途中まで曳き上るのをご存知ですか?これは、高岡城参拝の名残であるといわれ、御車山は上った後、後ろ向きに曳き下がります。

その後、片原町交差点で勢揃いとなります。これは、現在の北陸銀行高岡支店の場所に、高岡町奉行の役宅があり、山町の役員一同が挨拶に行ったこと

からきています。

私も、市長として毎年挨拶をさせていただき、大変名誉なことだと思っています。

また、勢揃いのために、万葉線の架線が一部撤去されますが、全国でも珍しいことだそうです。

まさに  
晴れ舞台です



高岡古城公園小竹藪  
富山県中央植物園の調査により新品種と判断され、「タカオカコシノヒガン」と命名されました。

### 高岡古城公園オリジナルの桜も

#### 築城時の縄張りを留める城跡

5月1日の高岡御車山祭の前に、たくさんの方々が訪れるのが、高岡古城公園です。「さくら名所100選」に選ばれ、ソメイヨシノやコシノヒガンなどの桜が次々と咲き、公園全体が桜色に染まります。

もちろんここは、加賀前田家二代当主前田利長が築城した高岡城の跡。築城技術が高度に発達した近世初頭の縄張り(水堀や郭)が、ほぼ完全な形で残っているという城跡です。

お花見に訪れたら、小竹藪へ行ってみましょう。「タカオカコシノヒガン」が可愛い花を咲かせていますよ。この桜は、高岡古城公園の固有品種なんです。オリジナルの桜まであるなんて、すごいですね。



高岡城築城に関わったとされるキリシタン大名高山右近は、2017年1月に、ローマ法王より、カトリックで「聖人」に次ぐ崇敬の対象である「福者」に認定されました。

## 私の お気に入り アイテム

高橋まさきがセレクトしたアイテムを紹介します!

### Vol.2 「デスクトップ 癒やしのアイテム」



自動車型消しゴムくずクリーナー

極めつけの癒やしは、こちら。シリンダー型のボールペン立て。(静止画ではわかりにくいのですが)

シリンダーにボールペンを入れる(落とす?)と、ピッタリはまって、ゆっくりとシリンダーに収まります。この間、約6秒。書きものがはかどらず、少々かさついた気分のときも、この6秒間で気持ちが落ち着きます。

こんなペンが  
入っています

シリンダー型のボールペン立て



ペンを入れて

少しずつ沈んで...

6秒で完了!

### 特別 寄稿

#### 高橋市長、 高岡市民へのエール

淑徳大学人文学部 教授 北野 大



我が国は少子高齢化社会に入り、今後どのように国の活力を維持するか、地方都市の在り方、役割など重大な懸案事項が山積しています。このような状況下、社会のリーダーとして行政に係る人の役割がさらに大きくなっています。

高橋市長とは20年弱のお付き合いです。まず、申し上げますと、高橋市長さんのような人をリーダーにしている高岡市民は非常に恵まれていると思います。私から言うまでもありませんが、高橋市長は極めて温厚・誠実の人柄であり、また気配りの人です。怒った顔を一度も見たことがありません。また長年の行政経験に裏付けられた安心してお任せできる行政家であります。

東京都の小池知事の言葉をお借りすれば、まさに「市民ファースト」の行政をつづけてこられました。市長就任以来約7年半が過ぎましたが、この間の高岡市の発展は市長のリーダーシップと市民皆様の協力によるものが多いと思います。

今後も高橋市長をリーダーとして、高岡市民の皆様の当事者意識により、高岡市のさらなる発展を祈願します。

## おすすめ散歩道

Vol.2

第2回は、高岡駅から古城公園へのコースです。瑞龍寺口(南口)の階段を上ると古城公園口(北口)を結ぶ広い万葉ロード。東側の大きな窓からはお天気が良いと立山連峰が一望できます。4月からは看護専門学校の校舎「Sorae」ビルも新しい景色に加わります。



万葉ロードからの立山連峰

駅ビル・クルン地下街から末広通りに上がり、大和前を右折。御旅屋通りアーケードを抜け、ハンサムな大仏様を右手に拝んで、赤い駐春橋を渡ると終点の古城公園です。

道端のブロンズ像達が歓迎してくれたり、駅やアーケードで毎週行われる「市」ではお店の方と会話しながら買い物したりといろいろ楽しめます。お茶する場所も増えました。

古城公園の園内には距離にあわせて散歩コースもあります。新たな発見をしに、お散歩してみませんか? (高橋 陽子)